

## 令和5年度 学校関係者評価（中）

評価	基準	評価	基準
A	十分目標を達成することができた	C	あまり目標を達成することができなかった
B	おおむね目標を達成することができた	D	ほとんど目標を達成することができなかった

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	自己 評価	関係 評価	御意見
ア	知的好奇心・探究心を大切に、幅広い知識・思考力・表現力等、未来に生きる確かな学力を育成する。	B	A	・生徒たちの反応を大切に授業改善を目指している。 ・家庭学習時間は広い意味で学習時間が作れているかを評価すれば良い。諸活動に活発に取り組むほど不足するのは致し方ない。
イ	地域社会・国際社会のリーダーとして必要なコミュニケーション能力・高い倫理観等の資質・能力を育成する。	A	A	・全体的に高い達成率で素晴らしい。グループワークを増やすなどしてより高めてほしい。 ・小グループ学習では活発な意見交換をしていた。 ・学校生活の満足度が高く、コミュニケーション能力が高いことは大いに評価すべきこと。
ウ	生命に対する畏敬の念や異なる人々を受け入れる優しさを育てるとともに、防災や安全に関する意識を高める。	B	B	・学校生活に満足している生徒の割合が上がり素晴らしい。 ・防災と交通目標が達成できるよう引き続き尽力してほしい。 ・新しい取り組みのいじめに関する研修が素晴らしい。 ・社会ルール・マナーはこの年代に身につけるべき。
エ	自分の幸福を追求するだけでなく、社会の発展に積極的に貢献しようとする意欲をもつ生徒を育てる。	A	A	・全体的に高い達成率である、他者の意見に耳を傾け自分の考えを深めることができる力は、人間関係づくりの基本である。 ・義援金募金活動等が自発的に実践できると良い。 ・入試や成績に直接結びつかないボランティア活動の意義や目的など行動を起こす動機づけが必要ではないか。
オ	目標の実現に粘り強く取り組むたくましい心と体を育成するとともに、生徒の主体的な取組を通して自主・自律の精神を育み、生徒が主役の明るく規律ある学校づくりを進める。	A	A	・調べたり聞いたりして問題解決する力はとても重要なので引き続き支援してほしい。 ・心身の安全教育のために様々な機関と連携をして講座を開設したり道徳科で重点的に扱ったりするなど充実した活動が展開されている。
カ	系統的・組織的な進路指導を通して、一人一人の夢と志を可能とする進路を実現する。	B	B	・学力の向上と夢と志が見つけれられる取り組みや指導の両立を続けてほしい。 ・進路については生徒・保護者共に最大の関心事であり、生徒一人一人個々に対して適切な指導に心がけていただきたい。
キ	生徒を鍛え、生徒の自己実現を支援することができる、高い指導力をもつプロの教師集団を目指す。また、組織を支える教職員一人一人のワークライフ・バランスの保持・向上に努める。	B	B	・会議の進め方や書類作成の煩雑さ等をもう一度見直して生徒と向き合える時間に充ててほしい。 ・生徒・教職員共々時間的余裕が不足しており、十分な教育及び指導を行うには文科省の根本的な仕組み改革が必要。
ク	「魅力ある学校づくり」を進め、中高一貫の特色を生かした信頼される教育体制の充実に努める。	A	A	・校外での体験活動を多く行うことは、一人一人の夢や志を可能とする貴重な体験になるので今後も継続してほしい。 ・中高一貫校ならではのプログラムやカラーの創出、教師の細やかな配慮が保護者の感謝につながっている。
ケ	コンプライアンスを遵守するとともに、情報の発信を積極的に行い、生徒・保護者・地域の人々から信頼される学校経営に努める。	A	A	・学校内に信頼できる教師がいるという生徒が9割以上であることは誇るべきである。 ・情報発信に努めながらも、保護者の価値の多様化・個人情報流出には十分な配慮が必要であることを全職員で意識したい。
コ	教育目標を達成するため、各目標具現化の柱の遂行に係る適切な財務執行を図る。	A	A	・監査、検査等で指摘事項が0件であるということは、日常の財務執行等の透明性が確保されていることであると思う。